

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市マンガ・アニメ情報館及び新潟市マンガの家		
管理者名	にいがたアニメ・マンガプロジェクト共同体	指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日
担当課	文化スポーツ部文化政策課		
所在地	新潟市マンガ・アニメ情報館：新潟市中央区八千代2丁目5番7号 万代シテイ・BP2 1階 新潟市マンガの家：新潟市中央区古町通6番町971番地7		
根拠法令			
設置条例	新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家条例		
施設概要	<p>【新潟市マンガ・アニメ情報館】 建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上4階建て 専有面積：914.47㎡ 施設：常設展示コーナー、企画展示コーナー、ミニシアター、交流体験スペース・閲覧コーナー</p> <p>【新潟市マンガの家】 建築構造：鉄筋コンクリート造陸屋根8階建て 延床面積：349.07㎡ 施設：常設展示コーナー、企画展示コーナー、交流体験スペース・閲覧コーナー</p>		

施設設置目的
<p>新潟のマンガ文化及びアニメーション文化を次世代に継承し、及び発展させることにより、市民の文化活動の振興に資するとともに、これらの文化を市内外に発信することにより、本市の観光交流の推進及び地域の活性化を図ることを目的とする。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>1 基本理念</p> <p>(1) マンガ・アニメを本市文化施策の主要な柱に位置づけ、市民の誇りとなるよう、その継承と発展に努める。</p> <p>(2) マンガ・アニメとゆかりの深い本市の特性を活かした取り組みを進め、国内外に発信し、多様な交流を促すことで地域の活性化を実現する。</p> <p>2 実施事業</p> <p>施設の設置目的を達成するために以下の事業を行う。</p> <p>(1) マンガ・アニメの普及及び啓発に関すること</p> <p>(2) マンガ・アニメに関する交流及び体験活動に関すること</p> <p>(3) マンガ・アニメに関する講演会、講座等を開催すること</p> <p>(4) マンガ・アニメに関する資料等の公開及び閲覧に関すること</p> <p>3 管理運営方針</p> <p>(1) 当該業務において善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。</p> <p>(2) 施設の設置目的を踏まえて、新潟市マンガ・アニメ情報館及びマンガの家の一体的な管理によりその効果を最大限発揮させるよう、努力するものとする。</p> <p>(3) 業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的な管理方針のもとで、仕様書に示す多岐にわたる業務について適切に進捗管理を行い実施するものとする。</p> <p>(4) 指定管理者は、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、入館者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指すものとする。</p>

2024年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	施設入館者数	情報館・マンガの家合わせて年50,000人以上	・情報館 36,245人 ・マンガの家 25,065人 両館合計 61,310人	B	
	企画展の実施	・情報館 年6回以上 ・マンガの家 年1回以上	・情報館 6回 ・マンガの家 1回	B	
	事業の実施	・マンガの家における制作実演参加者数 年1,000人以上 ・マンガ出張講座実施回数 年6回以上	・参加者数 5,531人 ・実施回数 9回	A	制作講座の内容を創意工夫し、目標の4倍の参加者を獲得している点及び積極的に出張講座を実施している点は高く評価できる
	施設間の連携	情報館及びマンガの家の共通イベント等連携事業の実施	・連携事業 計1回	B	
	広報・PRの充実	・ホームページアクセス数 年300,000件以上 ・各種メディアへの掲出（取材含む） 年50回以上 ・各種SNSの活用	・PV合計 455,883件 ・メディア掲出85回	A	積極的かつ有効な広報活動を実施しており、評価できる
	入館者の満足度	入館者アンケートで「満足」が80%以上	各項目の「満足」+「まあまあ満足」の合計 ・情報館 85.0% ・マンガの家 99.0%	A	両館ともに高い満足度を得ており、サービス力を評価できる
	要望・苦情に対する回答	要望・苦情には原則5営業日以内に回答	即日対応を基本とし遂行。特に大きな問題は発生していない。	B	
	自主事業の実施	施設の設置目的に合致した自主事業の実施	両館共にオリジナル商品（会場限定）を製作して販売した。オリジナル商品目当ての県外からの問い合わせも多数あり、利用者の満足度も高かったと考える。	A	魅力的な商品を製作・選定し、工夫して販売したことで、市内外からの多くの集客に繋がった点は高く評価できる
財 務	適正な財政運営、財務管理	収支計画に基づく収入の確保及び費用の執行、収支状況の記録	収支計画に基づき適正に執行。収支状況も月次、企画展ごとに記録し管理した。	B	
業 務	事業の適正な実施	・業務仕様書等に定める事業の実施及び遵守 ・業務マニュアルの作成	業務仕様書や業務マニュアルに基づき適正に実施。	B	
	市民協働の推進、地域・関係団体等との連携	地域、関係団体等との連絡調整会議、連携イベント開催 年1回以上	B P会議に出席。また、デスノート展では隣接会場で開催されたアニメ「推しの子展」と連携。入館促進ポストカードキャンペーンを実施。	B	
	社会・地域への貢献	再委託する場合の市内事業者への再委託及び物品等の市内事業者（店舗）からの調達率 90%以上	市内調達率93.5%	B	
	安心・安全の確保	・緊急連絡網・危機管理マニュアルの作成 ・防災訓練 年2回以上実施	緊急連絡網・危機管理マニュアルをスタッフが即座に確認できる場所に配置。防災訓練は6月と11月に実施。	B	

	コンプライアンス	コンプライアンス研修の実施 1人あたり年1回以上	企画展開始前に毎回実施。	B	
	業務仕様書の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切に遵守している。	B	
人 材	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	法令順守を尽し問題なし。	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員業務研修の実施 1人あたり年2回以上	企画展開始前を目途に2回実施。	B	
	市内雇用への貢献	市内居住者の雇用率 80%以上	市内居住者雇用率93.3%	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

R6年度は本格的になってきたインバウンドや相次ぐ物価上昇などへの対応も大きなテーマとなった。また、両施設の新たな利用法や市民交流の形などを模索、新たなチャレンジとして取り組み、成果を出してきた。入館人数においても目標を大きく上回る結果となり、運営内容とともに充実した1年とした。情報館においては年6本の企画展のうち、新潟ゆかり作家のものを2本開催したことにより、施設のコンセプトを大いに体現できたと感じている。

施設維持管理については老朽化する常設展示機器のメンテナンス、機種交換などに対応する件数も多くなった。省エネルギーの観点から古くなった設備、システムの維持よりも、より省力的、効率的な物への交換を前提に準備してきた。

アウトリーチにも注力した。学校などへの出張講座の内容を分野の職業としての認知、啓蒙と創造する喜びを伝えることに重きを置き、施設の教育的な存在価値のアピールに努めた。

所管課による総合評価(所見)

現地調査日: 令和7年2月7日

年間を通し、両施設ともに有効な広報を発信し、入館者数は目標を上回る結果となった。出張講座や総合学習等の受け入れを積極的に行い、次世代育成の施設としての役割も果たしていた。

また、今年度からの取組として、マンガ・アニメ情報館で学校向けの講話メニューを新設したこと、マンガの家で18歳以上を対象としたデッサン講座をスタートさせたことは、新たな利用者の獲得に繋がる取組であり、高く評価できる。

近年の課題となっている展示機器の老朽化や物価高騰といった課題に対しても、対応を模索しながら適切に対応していた。

次年度も、施設の課題に対し工夫を凝らした適切な対応を実施し、広く市民から足を運んでもらえる運営の維持を期待する。